

			行動目標 (知識は黒字、技能は赤字、態度は青字)	コンピテンシーレベル			自己評価	観察評価		症例登録			講習会参加
				1年目	2年目	3年目		指導医	多職種	必須	選択	備考	
I	救急医学総論	一般目標	救急医療の実施に必要な救急医学の特徴を理解する										
		1 (知識)	救急医療と救急医学についての概念を説明できる	知識			○	○					
		2 (知識)	救急医療体制と救急搬送体制の現状と課題について説明できる	知識			○	○					
		3 (知識)	地域包括ケアシステムにおける救急医療の役割について説明できる	知識			○	○					
		4 (知識)	救急病態の診断と治療の特徴と原則を説明できる	知識			○	○					
II	病院前救急医療	一般目標	病院前で行われる救急医療と院内の救急医療の違いを理解する										
		1 (知識)	病院前救護体制とメディカルコントロール体制について説明できる	知識			○	○					
		2 (技能)	メディカルコントロール体制下での指示を指導医とともに適切に行える			A	○	○					
III	心肺蘇生法・救急心血管治療	一般目標	心停止患者および心停止前後の患者への対応能力を修得する										
		1 (知識)	心肺蘇生法の原理について説明できる	知識			○	○					
		2 (知識)	心肺蘇生ガイドラインとウツタイン様式について説明できる	知識			○	○					
		3 (技能)	成人の心停止患者に対し一次救命処置を実施できる	C			○	○					BLS指導
		4 (技能)	成人の心停止患者に対し二次救命処置を実施できる	B	C		○	○	5以上	(11小児も加算可)			CLS(AHA ACLSを含む)受講
		5 (技能)	市民と医療従事者に対し救命処置を指導できる	B	C		○	○	5以上				ICLS(AHA ACLSを含む)指導
		6 (技能)	心肺停止患者に適切に緊急薬剤を投与できる	C			○	○	5以上				
		7 (技能)	徐脈(拍)と頻拍(脈)の心血管救急患者を適切に治療できる	B	C		○	○					
		8 (技能)	急性冠症候群の患者に適切な初期診療ができる	B	C		○	○					
		9 (技能)	脳卒中の患者に適切な初期診療ができる	B	C		○	○					
		10 (知識)	中毒などの特殊な状況下での二次救命処置について説明できる			知識	○	○					
		11 (技能)	小児の心肺停止患者に一次および二次救命処置を実施できる	A	B	C	○	○					
		12 (知識)	心停止後症候群の病態を説明できる	知識			○	○					
		13 (技能)	心拍再開後の集中治療管理を適切に実施できる	B	C		○	○	5以上				
IV	ショック	一般目標	ショックの病態生理を理解し、初期診療を行う能力を修得する										
		1 (知識)	ショックの定義と分類を説明できる	知識			○	○					
		2 (知識)	各種ショックの病態生理を説明できる	知識			○	○					
		3 (技能)	各種ショックの基本初期診療を適切に実施できる	B	C		○	○	5以上				
V	救急初期診療	一般目標	救急初期診療を科学的に妥当で、かつ安全に行う能力を修得する										
		1 (態度)	救急初期診療を標準予防策を理解し、実践している	C			○	○	○				感染対策講習会
		2 (技能)	救急患者に対し適切な緊急度判断、初期対応と全身観察が実施できる	C			○	○	○				
		3 (技能)	複数患者の初期診療に同時に対応でき、優先度を判断できる	B	C		○	○	○				
		4 (知識)	気道確保困難症例の概念と対応を説明できる	知識			○	○					
		5 (知識)	緊急検査の診断精度と信頼度の概念について説明できる	知識			○	○					
		6 (技能)	心電図異常を呈する救急疾患と病態を診断できる	B	C		○	○					
		7 (技能)	救急患者の状況に応じた適切な画像診断を選択できる	C			○	○					
		8 (技能)	救急薬剤を薬物動態に基づいて安全に使用できる	B	C		○	○					
		9 (技能)	救急患者に適切な輸液療法ができる	C			○	○					
		10 (技能)	緊急時の輸血を安全に実施できる	C			○	○					
11 (態度)	血液製剤を指針に従って適切に使用している	C			○	○	○						
VI	救急手技・処置	一般目標	救急医療に必要な手技と処置を安全に行う能力を修得する										
		1 (技能)	緊急気管挿管を安全に実施できる	B	C		○	○	3以上				
		2 (技能)	電気ショック(同期・非同期)を安全に実施できる	B	C		○	○	3以上				
		3 (技能)	胸腔ドレーンを安全に挿入・管理・抜去できる	A	B	C	○	○	3以上				
		4 (技能)	中心静脈カテーテルを安全に挿入・管理・抜去できる	A	B	C	○	○	3以上				
		5 (技能)	動脈カニューレーションによる動脈圧測定を安全に実施できる	B	C		○	○	3以上				
		6 (技能)	緊急超音波検査(FAST含む)を実施できる	B	C		○	○	3以上				
		7 (技能)	胃管の挿入と胃洗浄を安全に実施できる	B	C		○	○	3以上				
		8 (技能)	腰椎穿刺を安全に実施できる	B	C		○	○	3以上				
		9 (技能)	創傷処置(汚染創の処置)を安全に実施できる	A	B	C	○	○	3以上				
		10 (技能)	簡単な骨折の整復と固定を安全に実施できる	A	B	C	○	○	3以上				
		11 (技能)	緊急気管支鏡検査を安全に実施できる	A	B	C	○	○	3以上				
		12 (技能)	人工呼吸器による呼吸管理を安全に実施できる	B	C		○	○	3以上				
		13 (技能)	緊急血液浄化法を安全に準備・管理できる	A	B	C	○	○	3以上				
		14 (技能)	重症患者の栄養評価と栄養管理を適切に行える	A	B	C	○	○	3以上				
		15 (技能)	重症患者の鎮痛・鎮静管理を適切に行える	A	B	C	○	○	3以上				
		16 (技能)	気管切開を指導者とともに安全に実施できる			A	○	○			3まで		
		17 (技能)	輪状甲状間膜穿刺・切開を指導者とともに安全に実施できる			A	○	○			3まで		
		18 (技能)	緊急経静脈的一時ペーシングを指導者とともに安全に実施できる			A	○	○			3まで		
		19 (技能)	心嚢穿刺・心嚢開窓術を指導者とともに安全に実施できる			A	○	○			3まで		
		20 (技能)	開胸式心マッサージを指導者とともに実施できる			A	○	○			3まで		
		21 (技能)	肺動脈カテーテル挿入を指導者とともに安全に実施できる			A	○	○			3まで		
		22 (技能)	IABPを指導者とともに安全に導入し管理できる			A	○	○			3まで		
		23 (技能)	PCPSを指導者とともに安全に導入し管理できる			A	○	○			3まで		
		24 (技能)	大動脈遮断用バルンカテーテルを指導者とともに安全に挿入できる			A	○	○			3まで		
		25 (技能)	消化管内視鏡による検査と処置を指導者とともに安全に導入し管理できる			A	○	○			3まで		
26 (技能)	イレウス管を指導者とともに安全に挿入できる			A	○	○			3まで	選択合計30以上			

		行動目標 (知識は黒字、技能は赤字、態度は青字)	コンピテンシーレベル			自己評価	観察評価		症例登録			講習会参加
			1年目	2年目	3年目		指導医	多職種	必須	選択	備考	
		27 (技能) SBチューブを指導者とともに安全に挿入し管理できる			A	○	○			3まで		
		28 (技能) 腹腔穿刺・腹腔洗浄を指導者とともに安全に実施できる			A	○	○			3まで		
		29 (技能) ICPモニタを指導者とともに安全に挿入できる			A	○	○			3まで		
		30 (技能) 腹腔(膀胱)内圧測定を指導者とともに安全に実施できる			A	○	○			3まで		
		31 (技能) 筋区画内圧測定を指導者とともに安全に実施できる			A	○	○			3まで		
		32 (技能) 減張切開を指導者とともに安全に実施できる			A	○	○			3まで		
		33 (技能) 緊急IVRを指導者とともに安全に実施できる			A	○	○			3まで		
		34 (技能) 全身麻酔を指導者とともに安全に実施できる			A	○	○			3まで		
		35 (技能) 脳死判定を判定医の一人として適切に実施できる		A	B	○	○			3まで		
VII	救急症候に対する診療	一般目標 頻度の高い救急症候を理解し、その初期診療能力を修得する										
		1 (技能) 意識障害の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		2 (技能) 失神の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		3 (技能) めまいの初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		4 (技能) 頭痛の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		5 (技能) 痙攣の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		6 (技能) 運動麻痺、感覚消失・鈍麻の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		7 (技能) 胸痛の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		8 (技能) 動悸(不整脈を含む)の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		9 (技能) 高血圧緊急症の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		10 (技能) 呼吸困難の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		11 (技能) 咳・痰・喀血の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで	選択合計30以上	
		12 (技能) 吐血と下血の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		13 (技能) 腹痛の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		14 (技能) 悪心・嘔吐の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		15 (技能) 下痢の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		16 (技能) 腰痛・背部痛の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		17 (技能) 乏尿・無尿の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		18 (技能) 発熱、高体温の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		19 (技能) 倦怠感・脱力感の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		20 (技能) 皮疹の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
		21 (技能) 精神症候の初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
VIII	急性疾患に対する診療	一般目標 主要な急性疾患について重症度に関わらずに初期診療を行う能力を修得する										
		1 (技能) 神経系疾患による救急患者の診療を行える	B	C		○	○			3まで		
		2 (技能) 心大血管系疾患による救急患者の診療を行える	B	C		○	○			3まで		
		3 (技能) 呼吸器系疾患による救急患者の診療を行える	B	C		○	○			3まで		
		4 (技能) 消化器系疾患による救急患者の診療を行える	B	C		○	○			3まで		
		5 (技能) 代謝・内分泌系疾患による救急患者の診療を行える	B	C		○	○			3まで		
		6 (技能) 血液・免疫系疾患による救急患者の診療を行える	B	C		○	○			3まで		
		7 (技能) 運動器系疾患による救急患者の診療を行える	B	C		○	○			3まで		
		8 (技能) 特殊感染症による救急患者の診療を行える	B	C		○	○			3まで		
IX	外因性救急に対する診療	一般目標 外傷、熱傷、中毒などの外因性救急に対して初期診療を行う能力を修得する										
		1 (技能) 外傷診療チームの一員として外傷初期診療を適切に行える	A	B	C	○	○					JPTEC指導、JATEC受講
		2 (技能) 頭部外傷の初期診療を適切に行える	B	C		○	○			3まで		
		3 (技能) 脊椎・脊髄損傷の初期診療を適切に行える	B	C		○	○			3まで		
		4 (技能) 顔面・頸部外傷の初期診療を適切に行える	B	C		○	○			3まで		
		5 (技能) 胸部外傷の初期診療を適切に行える	B	C		○	○			3まで		
		6 (技能) 腹部外傷の初期診療を適切に行える	B	C		○	○			3まで		
		7 (技能) 骨盤外傷の初期診療を適切に行える	B	C		○	○			3まで		
		8 (技能) 四肢外傷の初期診療を適切に行える	B	C		○	○			3まで		
		9 (技能) 多発外傷の初期診療を適切に行える	B	C		○	○			3まで		
		10 (技能) 重症熱傷・気道熱傷・化学熱傷・電撃傷の初期診療を適切に行える	B	C		○	○			3まで		
		11 (技能) 急性中毒の初期診療を適切に行える	B	C		○	○			3まで		
		12 (技能) 環境障害(熱中症・低体温症・減圧症等)・溺水の初期診療を適切に行える	B	C		○	○			3まで		
		13 (技能) 気道異物と食道異物の初期診療を適切に行える	B	C		○	○			3まで		
		14 (技能) 刺咬症の初期診療を適切に行える	B	C		○	○			3まで		
		15 (技能) アナフィラキシーの初期診療を適切に行える	C			○	○			3まで		
X	小児および特殊救急に対する診療	一般目標 専門領域の救急患者の初期診療を専門医と連携して行う能力を修得する										
		1 (技能) 小児科領域の救急患者の診療を同領域の専門医と連携して行える		A	B	○	○			3まで		
		2 (技能) 精神科領域の救急患者の診療を同領域の専門医と連携して行える		A	B	○	○			3まで		
		3 (技能) 産婦人科領域の救急患者の診療を同領域の専門医と連携して行える		A	B	○	○			3まで		
		4 (技能) 泌尿器科領域の救急患者の診療を同領域の専門医と連携して行える		A	B	○	○			3まで		
		5 (技能) 眼科領域の救急患者の診療を同領域の専門医と連携して行える		A	B	○	○			3まで		
		6 (技能) 耳鼻咽喉科領域の救急患者の診療を同領域の専門医と連携して行える		A	B	○	○			3まで		
XI	重症患者に対する診療	一般目標 重症患者の病態を理解し、集中治療管理を安全に行う能力を修得する										
		1 (知識) 集中治療の概念について説明できる		知識		○	○					
		2 (知識) 重症患者に関する侵襲と生体反応について説明できる		知識		○	○					

		行動目標 (知識は黒字、技能は赤字、態度は青字)	コンピテンシーレベル			自己評価	観察評価		症例登録			講習会参加
			1年目	2年目	3年目		指導医	多職種	必須	選択	備考	
	3 (知識)	各種評価指標による重症度評価について説明できる		知識		○	○					
	4 (技能)	頭蓋内圧亢進の管理を安全に行える	A	B	C	○	○			3まで	選択合計20以上	
	5 (技能)	急性呼吸不全(ARDS)の呼吸管理を安全に行える	A	B	C	○	○			3まで		
	7 (技能)	急性心不全の循環管理を安全に行える	A	B	C	○	○			3まで		
	8 (技能)	急性肝障害および肝不全の管理を安全に行える	A	B	C	○	○			3まで		
	9 (技能)	Acute Kidney Injuryの管理を安全に行える	A	B	C	○	○			3まで		
	10 (技能)	敗血症の管理を安全に行える	A	B	C	○	○			3まで		
	11 (技能)	多臓器不全の管理を安全に行える	A	B	C	○	○			3まで		
	12 (技能)	電解質・酸塩基平衡異常の管理を安全に行える	A	B	C	○	○			3まで		
	13 (技能)	凝固・線溶系異常の管理を安全に行える	A	B	C	○	○			3まで		
	14 (技能)	救急・集中治療領域の感染症の診断と抗菌療法を適切に行える	A	B	C	○	○			3まで		
X II	災害医療	一般目標 災害医療の概念を理解し、災害時の活動に必要な知識を修得する										
	1 (知識)	災害医療の概念と救急医療との違いについて説明できる	知識			○	○					
	2 (知識)	災害医療の体系的アプローチの原則(CSCATTT)について説明できる	知識			○	○					
	3 (技能)	一次トリアージ(START法)、二次トリアージ(PAT法)を行える	C			○	○					
	4 (知識)	DMATの概念と活動について説明できる			知識	○	○					
	5 (知識)	マスギャザリング(群衆)での医療支援について説明できる			知識	○	○					
	6 (知識)	CBRNEテロリズムの完全管理と診療原則を説明できる			知識	○	○					
	7 (知識)	緊急被ばく医療の概念について説明できる			知識	○	○					
X III	救急医療の質の評価・安全管理	一般目標 質の高い救急医療を目指し、これを安全に実践する習慣を身につける										
	1 (知識)	救急医療の質の評価について説明できる		知識		○	○					
	2 (知識)	症例レジストリの意義と方法について説明できる		知識		○	○					
	3 (態度)	医療安全管理の原則に基づいた救急医療を実践している	C			○	○	○				医療安全講習会
X IV	救急医療と医事法制	一般目標 救急医療に求められる法律を理解し、これを遵守する習慣を身につける										
	1 (技能)	死亡診断書と死体検案書を作成することができる	C			○	○					
	2 (態度)	医師の法的義務(届出・守秘義務)を遵守している	C			○	○	○				医療法制講習会
	3 (知識)	虐待と暴力に関する法律について説明できる		知識		○	○					
	4 (知識)	社会的弱者に対する医療について説明できる		知識		○	○					
	5 (知識)	臓器移植法と臓器移植の流れについて説明できる		知識		○	○					
X V	医療倫理	一般目標 医師として必要な倫理規範を理解し、これを遵守する習慣を身につける										
	1 (態度)	生命倫理と医療倫理に基づいた救急医療を実践している	C			○	○	○				医療倫理講習会
	2 (態度)	適切なインフォームドコンセントによる救急医療を実践している	C			○	○	○				医療倫理講習会
	3 (知識)	救急医療における終末期医療の概念について説明できる		知識		○	○					
			(注)	コンピテンシーレベルの分類								
				A: 指導医を手伝える								
				B: チームの一員として行動できる								
				C: チームを率いることができる								